

# 2026 年度立命館大学 UNITE Program®出願要項

## 学部指定単元 AI 学習プログラム

### 1. 本プログラムの趣旨

「UNITE Program®」（以下、本プログラム）では、各学部のアドミッション・ポリシーに即し、学部ごとに指定した単元を、atama plus 株式会社が開発した AI 学習システム（KOUDAIBridge）にて学習することを通して、各学部のカリキュラム上、必要とされる素養を入学希望者が身につけることを目的としています。

また、本プログラム修了者は、対象の「（総合型選抜）AO 選抜入学試験（以下、AO 選抜入学試験）」に出願することができます。本プログラムは、「5. 出願資格」を満たせば、出身（所属）高等学校等やその所在地（国内／国外）によらず出願することができます。AO 選抜入学試験では、各学部のアドミッション・ポリシーに応じた選考を実施します。AO 選抜入学試験の合格者には、入学後に学びとコミュニティ形成の両方の側面で、他の学生や学部をけん引することを期待しています。

なお、本プログラムの出願は、AO 選抜入学試験の出願および合格を確約するものではありません。

### 2. 本プログラムの対象学部・学科および対象 AO 選抜入学試験概要

本プログラムの募集学部・学科、学習対象科目、また修了後に出願の対象となる AO 選抜の概要は以下のとおりです。

学部・学科		学習対象科目	AO 選抜方式名称	募集人数*1	AO 選抜選考方法*1
産業社会学部*2	現代社会専攻	英語	UNITE Program® (英語) 方式	4 名	第 1 次選考：書類選考 第 2 次選考：面接
	メディア社会専攻			2 名	
	スポーツ社会専攻			1 名	
	子ども社会専攻			1 名	
	人間福祉専攻			2 名	
デザイン・アート学部		情報	UNITE Program® (情報) 方式	10 名	1 段階選抜：書類選考、 面接による総合評価
政策科学部		数学	UNITE Program® (数学(統計)) 方式	10 名	第 1 次選考：書類選考 第 2 次選考：面接
総合心理学部		数学	UNITE Program® データサイエンス方式	14 名	第 1 次選考：書類選考 第 2 次選考：プレゼンテーションを含む 面接
経済学部	経済学科 経済専攻	数学または 数学・情報	UNITE Program® 数学・情報重視方式	12 名	第 1 次選考：書類選考 第 2 次選考：プレゼンテーション、 面接
スポーツ健康科学部		数学	CREA 方式（数学的素養 UNITE Program®型）	22 名：AO 選抜 全 4 方式合計	第 1 次選考：書類選考 第 2 次選考：プレゼンテーション、 面接
		情報	CREA 方式（課題発見・ 解決 UNITE Program®型）		

学部・学科		学習対象科目	AO 選抜方式名称	募集人数 <sup>※1</sup>	AO 選抜選考方法 <sup>※1</sup>
食マネジメント学部		数学または 情報	プレゼンテーション方式 (UNITE Program <sup>®</sup> 型)	25名:AO 選抜 全2方式合計	第1次選考:書類選考 第2次選考:プレゼン テーション、面接
情報理工学部 <sup>※3</sup>		数学	UNITE Program <sup>®</sup> 方式	25名	第1次選考:書類選考 第2次選考:プレゼ ンテーション、面接
生命科学部	応用化学科	数学・物理	UNITE Program <sup>®</sup> 方式 (数学・物理型)	6名:AO 選抜 全2方式合計	第1次選考:書類選考 第2次選考:小論文、 面接
	生物工学科	数学・英語	UNITE Program <sup>®</sup> 方式 (数学・英語型)	5名:AO 選抜 全2方式合計	第1次選考:書類選考 第2次選考:小論文、 面接
	生命情報学科	数学・情報	UNITE Program <sup>®</sup> 方式 (数学・情報型)	5名:AO 選抜 全2方式合計	第1次選考:書類選考 第2次選考:小論文、 面接
	生命医科学科	数学・生物	UNITE Program <sup>®</sup> 方式 (数学・生物型)	5名:AO 選抜 全2方式合計	第1次選考:書類選考 第2次選考:小論文、 面接
薬学部 <sup>※4</sup>	薬学科	化学	UNITE Program <sup>®</sup> 課題探究型方式	薬学科4名	第1次選考:書類選考 第2次選考:小論文、 面接
	創薬科学科			創薬学科2名	

※1 AO 選抜入学試験に関する情報は現時点での予定です。最終的な AO 選抜入学試験の詳細は 2026 年 6 月頃公開する入学試験要項で確認してください。

※2 本プログラムで産業社会学部に出願する際は専攻の選択を行いません。AO 選抜入学試験の出願時に専攻選択を行います。

※3 情報理工学部は Information Systems Science and Engineering Course 以外のコースが対象です。

※4 本プログラムで薬学部に出願する際は学科の選択を行いません。AO 選抜入学試験の出願時に学科選択を行います。

### 3. 出願受付人数および併願

- ・本プログラムへの出願受付人数に上限はありません。
- ・2つ以上の学部学科専攻および指定単元型の出願（併願）はできません。
- ・出願後に学部学科専攻および指定単元型の変更はできません。
- ・修了するプログラムの学部学科専攻および指定単元型によって出願できる AO 選抜入学試験が異なります。
- ・AO 選抜入学試験の概要は「8. 本プログラム対象 AO 選抜入学試験の実施スケジュール・出願要件等について」を確認してください。また、詳細は 2026 年 6 月頃に公開予定の入学試験要項で確認してください。

#### 4. アドミッション・ポリシー

学部	アドミッション・ポリシー
産業社会学部	<p>産業社会学部のカリキュラムで学ぶために必要な、以下の能力や資質を有する者を受け入れます。</p> <p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎的な教養と知的好奇心を有している者</li> <li>2 現代の様々な社会問題の理解とその解決に強い関心を持つ者</li> <li>3 他者とのやりとりを通して主体的に学びを深める姿勢を有する者</li> <li>4 将来、総合的で多面的な視野を持ち国内外での活躍を希望する者</li> </ol> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 高等学校教育課程における基礎的な学力、思考能力、判断能力を有し、それらを応用することができる者</li> </ol>
デザイン・アート学部	<p>デザイン・アート学部は、学部の教育目標を達成するために、以下の能力・資質を有する者を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 知識・技能 美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮し、フィジカルとデジタルに跨るデザイン・アートに関わる知識と技能を身につけるために、高等学校卒業相当の基礎学力を有している者</li> <li>2 思考力・判断力、表現力等の能力 美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮するために、デザイン・アートに関わる知識と技能に基づく思考・意思決定・行動の実践に励む意欲を持つ者</li> <li>3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮して、豊かな文化・生活世界の新たな形成理念を構想し、他者との協働においてそれを具現化するための努力を惜しまない者</li> </ol>
政策科学部	<p>政策科学部では、解決が必要とされている政策課題に対して、実践レベルに踏み込み、よりよい社会を創造するための学びを展開しています。こうした学びにチャレンジする学生を求めていることから、入学時点において以下の学力、関心を有することを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること</li> <li>2 それらの知識に基づく問題解決のための思考や態度、能力習得に関心があること</li> <li>3 広く社会的な課題の解決に向けた実践や構想に意欲があること</li> </ol>
総合心理学部	<p>総合心理学部では、本学部の人材育成目的と教育目標に共感し、本学部で学ぼうとする強い意志を持った学生を求めます。このため、入学時点において以下の学力、関心などを有することを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること 特に、国語と外国語に関する知識、理解力や表現力を有していること</li> <li>2 数学、社会、理科などの分野における知識や思考力を有していること</li> <li>3 人間の心と行動、現代における人間の在り方についての問題に関心を有していること</li> </ol>
経済学部	<p>経済学部は、経済学を基軸に社会科学を総合的に学ぶことで、多様性理解力とグローバルな視野を有し、経済センスに裏打ちされた論理的思考力をもって経済社会の諸課題に取り組み、その解決に貢献できる人材を育成することを目的としています。こうした人材育成目的に向けて設定された教育目標とカリキュラムで学ぶため、入学時点において以下の学力、意欲、興味を有することを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済・社会の問題を分析するために必要な基礎学力</li> <li>2 経済・社会の問題に対する関心と問題解決に主体的に取り組む意欲</li> <li>3 他者と協力しながら、ものごとに取り組む意欲</li> <li>4 論理的なものの見方・考え方に対する興味</li> </ol>
スポーツ健康科学部	<p>スポーツ健康科学部では、以下のような素養を有した学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 論理的に考える基礎的素養を身につけ、スポーツ健康科学分野を学ぶために必要な学力を有する学生</li> <li>2 多様な価値観を持った人々及び異分野の人々と融合した学びに、意欲的に取り組むことができる学生</li> <li>3 社会課題の解決及び社会貢献のために、スポーツ健康科学分野の学びに主体的に挑戦する意志を持つ学生</li> <li>4 自身の持ち味を理解し、自身の持っている人間的魅力を発揮する意欲を持つ学生</li> </ol>

学部	アドミッション・ポリシー
食マネジメント学部	<p>食マネジメント学部の人材育成目的に共感し、食についての幅広い興味や関心を抱き、社会と関わる食についての諸分野を統合的に学び、現代社会において実践的な行動力を発揮できる者を募集します。</p> <p>具体的には次の通りになります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食に関わる分野について強い興味や関心を抱き、食科学を主体的に学ぶ知的好奇心を有する者</li> <li>2 食マネジメント学部に関わるマネジメント、カルチャー、テクノロジーの諸科目を理解するために必要となる基礎的な知識および技能を有する者</li> <li>3 5教科（国語、外国語、数学、理科、社会）、さらにそれ以外の教科も含めて、社会や文化に関連する内容や自然現象に関連する内容に関心を持ち、幅広く基礎的な学習をしてきた者</li> <li>4 文化多様性への理解を示し、修得した統合的な知性を、国内外において積極的に受発信し実践する意欲と、そのための思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を持つ者</li> </ol>
情報理工学部	<p>情報理工学部は、情報科学技術の基礎から応用までの幅広い領域において、中核となる知識や技術から最先端の内容に及ぶ教育・研究を行います。コンピュータを利用して、新しい問題に対して実践的かつ創造的な解決策を導くことのできる経験と知識を備え、情報技術分野の組織の一員として中核的な役割を果たすとともに、多様な組織のリーダーとしてグローバルに活躍できる技術者・研究者を育成することを目指します。</p> <p>このような人材を育成するために、本学部では下記のような人物が入学することを期待しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 論理的な思考を行うことができ、情報科学を学ぶために必要な数学や自然科学に関する基礎知識を備えている</li> <li>2 日本語で学ぶ6つのコースについては、日本語の文章を作成および理解する十分な能力と、英語に関する基礎学力を備えている 英語で学ぶ1つのコースについては、英語の文章を作成および理解する十分な能力を備えている</li> <li>3 大学での幅広い学びを理解するための基礎的な教養を備えている</li> <li>4 情報技術に関わる学問分野に、幅広く、強い関心・興味を持っている</li> <li>5 基礎的なプログラミングを学習する強い意欲を持っている</li> <li>6 専門的な知識・技術、正しい倫理観、リーダーシップを獲得することに強い意欲を持っている</li> <li>7 問題を発見・解決する能力、コミュニケーション能力の重要性を認識し、その向上に励む意欲を持っている</li> </ol>
生命科学部	<p>生命科学部は、「基礎学力に加え、論理的思考能力、問題発見・解決能力およびコミュニケーション能力を有し、生命科学部で学ぶことに対し、積極的姿勢を持つ学生」を求めます。</p> <p>具体的には、「生命科学の世紀」といわれる21世紀において、生命科学の学術としての発展に寄与し、人類の幸福と、自然と調和した持続可能で豊かな社会の実現に貢献しようという強い意志を持つことに加えて、下記の3点の能力を持つ者を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 大学での学修の前提となる確かな基礎学力を有する者</li> <li>2 真理を探求するために必要な論理的思考能力を有する者</li> <li>3 課題を推進していくために必要な問題発見・解決能力やコミュニケーション能力を有する者</li> </ol>
薬学部	<p>薬学部は、医療の高度化に伴う薬学の深い専門的な力量をつけるため、以下のような学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 理科・数学において基礎的な知識を有し、科学的な思考力を持つ者</li> <li>2 課題探究心、社会性および一定のコミュニケーション能力を有する者</li> <li>3 薬学科では先端的な医療に関心を持ち、高度専門職業人としての薬剤師となることを強く志望し、そのために努力を惜しまない者</li> <li>4 創薬科学科では医薬品創製および関連分野において基礎研究および臨床開発に携わり、グローバルに活躍することを強く志望し、そのために努力を惜しまない者</li> </ol>

## 5. 出願資格

次の(1)～(3)のすべてに該当する者。なお、プログラム修了後、対象の AO 選抜入学試験出願時には出願書類に基づいて出願資格を審査します。そのため、本プログラムを修了しても AO 選抜入学試験の出願資格を有しない場合は、出願が認められない場合があります。

- (1) 出願する学部を第一志望として勉学を希望する者
- (2) 本学他学部を含め、本プログラムに初めて出願をする者  
(過年度、本プログラムに出願した者は、出願できません。)
- (3) 2027年3月31日までに、以下の①～③のいずれかに該当する者。
  - ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業した者
  - ② 特別支援学校の高等部、および高等専門学校の3年次を修了した者
  - ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
    - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
    - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
    - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
    - エ 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベル、国際 A レベル、欧州バカロレア資格を保有する者
    - オ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
    - カ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験（旧規程による大学入学資格検定を含む）に合格した者または合格見込みの者で、18歳に達するもの
    - キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
    - ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達するもの
      - \* 上記③ーア、オについて、飛び級等により、12年間より短い期間で修了した場合であっても、最終的に修了した課程が正規の学校教育の12年目以上の課程であれば、この要件を満たすものとします。
      - \* 上記③ークに関連し、本学が出願資格を認定した学校は、朝鮮高級学校です。  
また、本学では、本人からの申請に基づき個人の学習歴等を勘案し、上記③ークに該当すると判断した場合は、出願資格を認めます（詳細は入学センターまでお問い合わせください）。

## 6. 出願期間および出願の流れ

本プログラムへの出願は以下の手順で行ってください。

### (1) 出願期間

出願期間は以下の通りです。出願期間内に登録が完了しない場合は、出願を受理しません。

- ①産業社会学部、政策科学部、総合心理学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部  
2026年4月10日（金）午前11:00～8月4日（火）午前11:00（日本時間）
- ②デザイン・アート学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部  
2026年4月10日（金）午前11:00～9月8日（火）午前11:00（日本時間）

## (2) 出願システム

- ① 本プログラムの特設ウェブサイトより、本プログラムの出願システムである **The Admissions Office** (以下、TAO) にアクセスし、アカウントを作成してください。アカウント作成は、出願期間開始前でも行うことができます。

なお、アカウントを作成することにより、志願者はオンライン出願システムのプロバイダーである株式会社 TAO によって定められた「利用規約」と「個人情報の取り扱いについて」に同意するものとします。

- ② 出願期間内に TAO より出願登録を行ってください。出願登録の詳細は本プログラム特設ウェブサイトに掲載している「プログラム出願システム操作マニュアル」を参照してください。出願登録の完了後、全ての項目が正しく入力されているか確認の上で、「出願を完了する」ボタンを押下してください。

操作マニュアル：<https://www.ritsumei.ac.jp/uniteprogram/file/taomanual2026.pdf>

TAO：<https://admissions-office.net/ja/applicant/universities>

## (3) 志望理由フォームの入力

本プログラム出願には、TAO で志望理由フォームへの入力が必要です。「本プログラムに出願することになったきっかけ」と「志望学部（・学科・専攻）への志望動機」について 700 字以上～800 字以内で入力してください。

なお、立命館大学にてプログラム出願時に提出された志願者情報や志望理由等の確認を行います。万一、内容に不備があると判断された場合はユーザーID (受験番号) を発行しない場合があります。またユーザーID 発行後に不備が確認された場合は、ユーザーID の利用を停止する場合があります。

## (4) AI 学習システムのアカウント情報確認

毎週火曜日までの出願完了者へは、同週の金曜日までに **atama plus** 株式会社から TAO のアカウントを作成する際に登録したメールアドレス宛に、AI 学習システムの URL とユーザーID (受験番号)、初回ログイン用パスワードを送付します。(例) 5月13日(水)～5月19日(火)に出願完了した場合、5月22日(金)までに通知します。

通知されたメールを確認の上、AI 学習システムにログインし、学習を開始してください。本メールには、AI 学習システムのマニュアルの URL も掲載します。AI 学習システムログイン以降の詳細はそちらを確認してください。ユーザーID (受験番号) は、発行後に TAO にログインして確認することもできます。

なお、以下の日程については、アカウント情報の送付スケジュールが変わりますのでご注意ください。

出願完了日	アカウント情報送付日
4月10日(金)～4月16日(木)	4月21日(火)まで
4月22日(水)～4月27日(月)	5月1日(金)まで
4月28日(火)～5月6日(水)	5月12日(火)まで
8月5日(水)～8月18日(火)	8月21日(金)まで

本学の一斉休業期間(8月8日(土)～8月17日(月))も出願は可能ですが、ユーザーID (受験番号)・初回ログイン用パスワードの発行は行いません。上記表の通り、8月5日(水)～8月18日(火)の出願者には8月21日(金)までにユーザーID (受験番号)・初回ログイン用パスワードの発行を行います。

もし期日を過ぎてもアカウント情報のメールが届かない場合は、atama plus お問い合わせフォームへご連絡ください。

- ・ atama plus お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/R1VJHKZsWeP3r7oo7>

※「受講生の方のお問い合わせはこちら」を選択し、必要情報を入力してお問い合わせください。

(5) プログラム出願費用・提出書類

本プログラムへの出願費用は無料です。また、出願時に調査書等の書類提出（郵送）は不要です。

（なお、本プログラム修了者対象の AO 選抜入学試験に出願する際は入学検定料の納入および出願書類の提出が別途必要です。）

## 7. 学習

(1) AI 学習システムについて

本プログラムでは AI 学習システムを使用します。

AI 学習システムは、パソコンまたはタブレットを用いた学習システムです。AI 学習システムの利用料は無料ですが、学習に必要な電子機器および通信環境、それに伴う費用は出願者が用意・負担して学習してください。

(2) 学習期間について

以下の期間内に出願学部が指定するすべての単元の修得チェックを経て、本プログラムを修了してください。期限内に修了できなかった場合は、本プログラム修了者対象の AO 選抜入学試験に出願できません。

- ①産業社会学部、政策科学部、総合心理学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部

2026年4月21日（火）～8月24日（月）午前11：00（日本時間）

修了結果通知：8月28日（金）9：30（予定）

- ②デザイン・アート学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部

2026年4月21日（火）～10月6日（火）午前11：00（日本時間）

修了結果通知：10月13日（火）9：30（予定）

(3) AI 学習システムのサポート環境について

AI 学習システムのサポート環境は以下になります。

※KOUDAIBridge は AI 学習システムの名称です。

<b>KOUDAI</b> Bridge	
<b>PC</b>	<b>端末の必須条件</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ Windows 11 × Google Chrome最新版</li><li>・ macOS 26, macOS Sequoia(15) × Google Chrome最新版</li><li>・ Chrome OS最新版 × Google Chrome最新版</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ iPadはiPad mini第4世代以上、iPad Air第2世代以上、iPad第5世代以上を利用して下さい (iPad Proは全世代利用可能です)</li><li>・ Windows/Macは画面サイズ1024×768以上で利用して下さい</li><li>・ 内蔵カメラ・Webカメラがついている端末を利用して下さい</li><li>・ スマートフォン (iPhone、Android (7inch未満)) はサポート外です</li></ul>
<b>タブレット</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ iPadOS 18.26 × Safari最新版</li><li>・ Android 12～16 × Google Chrome最新版</li></ul>	

(4) 指定単元の学習について

- ① 指定単元と学習所要時間について

本プログラムで課される課題は、各学部のアドミッション・ポリシーに沿って設定されているため、学部ごとに異なります。学部ごとの指定単元と標準的な学習時間は下表のとおりです。学習期間内に修了できるよう計画的に取り組んでください。

なお、学習所要時間は統計値であり、実際に要する時間は該当単元の習熟度により個人差があります。

<各学部における指定単元と学習所要時間の目安>

【産業社会学部】

科目	単元分野	学習所要時間
英文読解	英文解釈（基礎）	6～7 時間
	英文解釈（応用）	9～10 時間
	論理構造を示すマーカー	5～6 時間
	パラグラフ（基礎）	2～3 時間
	パラグラフ（応用）	6～7 時間
	長文問題の解法	4～5 時間
合計		32～38 時間

【デザイン・アート学部】

科目	単元分野	学習所要時間
情報 I	情報社会と問題解決	1～2 時間
	情報のデジタル化	2～3 時間
	情報デザインの手法	1 時間程度
	コンピュータの活用	1～2 時間
	プログラミングの基本	1～2 時間
	シミュレーション	1 時間程度
	情報通信ネットワーク	1～2 時間
	データの活用と分析	1 時間程度
	情報社会と問題解決の実践問題	1 時間程度
	情報デザインの実践問題	3～4 時間
	コンピュータとプログラミングの実践問題	8～9 時間
	ネットワークとデータ活用の実践問題	2～3 時間
合計		23～31 時間

【政策科学部】

科目	単元分野	学習所要時間
数学 I	データの分析（データの散らばり）	6～7 時間
	データの分析（データの相関）	5～6 時間
数学 B	統計的な推測（確率変数と確率分布）	4～5 時間
	統計的な推測（確率変数の変換・和と積）	4～5 時間
	統計的な推測（正規分布）	5～6 時間
	統計的な推測（母集団と標本）	2～3 時間
	統計的な推測（推定と仮説検定）	2～3 時間
合計		28～35 時間

【総合心理学部】

科目	単元分野	学習所要時間
数学 I	データの分析 (データの散らばり)	6~7 時間
	データの分析 (データの相関)	5~6 時間
数学 A	場合の数と確率 (事象と確率・確率の基本性質)	4~5 時間
	場合の数と確率 (独立な試行・反復試行の確率)	3~4 時間
数学 B	統計的な推測 (確率変数と確率分布)	4~5 時間
	統計的な推測 (確率変数の変換・和と積)	4~5 時間
	統計的な推測 (正規分布)	5~6 時間
	統計的な推測 (母集団と標本)	2~3 時間
	統計的な推測 (推定と仮説検定)	2~3 時間
合計		35~44 時間

【経済学部 経済学科 経済専攻】 数学型

科目	単元分野	学習所要時間
数学 I	データの分析 (データの相関)	5~6 時間
数学 A	場合の数と確率 (事象と確率・確率の基本性質)	4~5 時間
	場合の数と確率 (独立な試行・反復試行の確率)	3~4 時間
数学 II	指数と対数 (指数・対数の応用)	3~4 時間
	多項式の微分法 (微分法の応用)	6~7 時間
	多項式の積分法 (積分と面積)	9~10 時間
数学 B	数列 ( $\Sigma$ の計算)	4~5 時間
	数列 (いろいろな数列)	5~6 時間
	統計的な推測 (母集団と標本)	2~3 時間
	統計的な推測 (推定と仮説検定)	2~3 時間
合計		43~53 時間

【経済学部 経済学科 経済専攻】 数学・情報型

科目	単元分野	学習所要時間
数学 I	データの分析 (データの相関)	5~6 時間
数学 A	場合の数と確率 (事象と確率・確率の基本性質)	4~5 時間
	場合の数と確率 (独立な試行・反復試行の確率)	3~4 時間
数学 II	指数と対数 (指数・対数の応用)	3~4 時間
	多項式の微分法 (微分法の応用)	6~7 時間
	多項式の積分法 (積分と面積)	9~10 時間
数学 B	数列 ( $\Sigma$ の計算)	4~5 時間
	数列 (いろいろな数列)	5~6 時間
情報 I	プログラミングの基本	1~2 時間
	ネットワークとデータ活用の実践問題	2~3 時間
合計		42~52 時間

【スポーツ健康科学部】数数学型

科目	単元分野	学習所要時間
数学 I	データの分析 (データの散らばり)	6~7 時間
	データの分析 (データの相関)	5~6 時間
数学 A	場合の数と確率 (事象と確率・確率の基本性質)	4~5 時間
	場合の数と確率 (独立な試行・反復試行の確率)	3~4 時間
	場合の数と確率 (条件付き確率)	3~4 時間
数学 II	多項式の微分法 (微分法の応用)	6~7 時間
	多項式の積分法 (積分と面積)	9~10 時間
数学 C	空間ベクトル (ベクトルと図形)	3~4 時間
合計		39~47 時間

【スポーツ健康科学部】情報型

科目	単元分野	学習所要時間
情報 I	情報社会と問題解決	1~2 時間
	情報のデジタル化	2~3 時間
	情報デザインの手法	1 時間程度
	コンピュータの活用	1~2 時間
	プログラミングの基本	1~2 時間
	シミュレーション	1 時間程度
	情報通信ネットワーク	1~2 時間
	データの活用と分析	1 時間程度
	情報社会と問題解決の実践問題	1 時間程度
	情報デザインの実践問題	3~4 時間
	コンピュータとプログラミングの実践問題	8~9 時間
	ネットワークとデータ活用の実践問題	2~3 時間
合計		23~31 時間

【食マネジメント学部】数数学型

科目	単元分野	学習所要時間
数学 I	2 次関数 (2 次関数の最大・最小と決定)	9~10 時間
	データの分析 (データの散らばり)	6~7 時間
	データの分析 (データの相関)	5~6 時間
数学 A	場合の数と確率 (順列)	5~6 時間
	場合の数と確率 (組合せ・組分け)	3~4 時間
	場合の数と確率 (事象と確率・確率の基本性質)	4~5 時間
	場合の数と確率 (独立な試行・反復試行の確率)	3~4 時間
	場合の数と確率 (条件付き確率)	3~4 時間
	場合の数と確率 (期待値)	3~4 時間
合計		41~50 時間

【食マネジメント学部】情報型

科目	単元分野	学習所要時間
情報Ⅰ	情報社会と問題解決	1~2 時間
	情報のデジタル化	2~3 時間
	情報デザインの手法	1 時間程度
	コンピュータの活用	1~2 時間
	プログラミングの基本	1~2 時間
	シミュレーション	1 時間程度
	情報通信ネットワーク	1~2 時間
	データの活用と分析	1 時間程度
	情報社会と問題解決の実践問題	1 時間程度
	情報デザインの実践問題	3~4 時間
	コンピュータとプログラミングの実践問題	8~9 時間
	ネットワークとデータ活用の実践問題	2~3 時間
合計		23~31 時間

【情報理工学部】

科目	単元分野	学習所要時間
数学Ⅱ	図形と方程式（点と直線）	6~7 時間
	図形と方程式（軌跡と領域）	5~6 時間
	指数と対数（指数の拡張）	5~6 時間
	指数と対数（指数関数）	2~3 時間
	指数と対数（対数とその性質）	5~6 時間
	指数と対数（対数関数）	5~6 時間
	三角関数（三角関数の応用）	4~5 時間
	三角関数（加法定理）	6~7 時間
	三角関数（三角関数の合成）	2~3 時間
数学 B	数列（漸化式と数列）	6~7 時間
	数列（数学的帰納法）	2~3 時間
合計		48~59 時間

【生命科学部 応用化学科】数学・物理型

科目	単元分野	学習所要時間
数学Ⅲ	微分法（微分法の応用）	6~7 時間
	積分法（定積分の応用）	5~6 時間
物理	力学（運動量の保存）	5~6 時間
	力学（単振動）	4~5 時間
	熱力学（気体の状態変化）	2~3 時間
	波（光の回折と干渉）	1~2 時間
合計		23~29 時間

【生命科学部 生物工学科】 数学・英語型

科目	単元分野	学習所要時間
数学Ⅲ	微分法（微分法の応用）	6~7 時間
	積分法（定積分の応用）	5~6 時間
英文読解	英文解釈（基礎）	6~7 時間
	論理構造を示すマーカー	3~4 時間
	パラグラフ（基礎）	2~3 時間
	長文問題の解法	4~5 時間
合計		26~32 時間

【生命科学部 生命情報学科】 数学・情報型

科目	単元分野	学習所要時間
数学Ⅲ	微分法（微分法の応用）	6~7 時間
	積分法（定積分の応用）	5~6 時間
情報Ⅰ	コンピュータとプログラミングの実践問題	8~9 時間
合計		19~22 時間

【生命科学部 生命医科学科】 数学・生物型

科目	単元分野	学習所要時間
数学Ⅲ	微分法（微分法の応用）	6~7 時間
	積分法（定積分の応用）	5~6 時間
生物基礎	代謝	1~2 時間
	遺伝子（遺伝情報と DNA）	1~2 時間
	遺伝子（遺伝情報の分配と合成）	2~3 時間
	生物の体内環境（恒常性・体液）	1 時間程度
	生物の体内環境（神経とホルモン）	2~3 時間
	生物の体内環境（免疫）	2~3 時間
合計		20~27 時間

【薬学部】

科目	単元分野	学習所要時間
化学基礎	物質の構成（物質の構成粒子）	2~3 時間
	物質の構成（物質と化学結合）	4~5 時間
	物質質量と化学反応式（濃度計算）	1~2 時間
	化学反応（酸・塩基、中和反応、酸化・還元）	10~11 時間
化学	物質の状態と平衡（状態変化と気体の性質、混合気体の圧力、蒸気圧、溶液とその性質）	9~10 時間
	物質の変化と平衡（化学反応と熱、反応速度）	6~7 時間
	有機化合物（脂肪族化合物）	2~3 時間
	有機化合物（芳香族化合物）	3~4 時間
	天然高分子化合物（アミノ酸とタンパク質、糖類・その他）	2~3 時間
合計		39~48 時間

② AI 学習システムでの学習の流れについて

各学部で指定された単元の学習を修了すると修得チェックに進むことができます。全ての修得チェックが「修得済み」と判定されると、対象の AO 選抜入学試験への出願要件を満たすこととなります。修得チェックで未修得判定となった場合も、学習期間内であれば、再度該当単元を学習し、修得チェックに何度でもチャレンジできます。

(5) 修得結果の確認方法について

指定単元の修得チェックの結果については、随時ご自身で AI 学習システムの学習画面より確認可能です。詳細はアカウント情報をお送りするメールに記載している AI 学習システムに関するマニュアルで確認してください。なお、最終的な修了結果については、以下の日時に TAO にて公開いたします。

- ①産業社会学部、政策科学部、総合心理学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部  
修了結果通知：8月28日（金）9：30（予定）
- ②デザイン・アート学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部  
修了結果通知：10月13日（火）9：30（予定）

(6) AI 学習システム学習時の不正行為について

AI 学習システムの学習において不正行為が見つかった場合は、すでに修得したのものも含めて全ての AI 学習システムでの学習結果を無効とし、対象となる AO 選抜入学試験への出願も認めません。また、当該年度および次年度以降の本プログラムの受講は認めません。

8. 本プログラム対象 AO 選抜入学試験の実施スケジュール・出願要件等について

本プログラム修了者対象の AO 選抜入学試験の概要は「[2. 本プログラムの対象学部・学科および対象 AO 選抜入学試験概要](#)」のとおりです。実施スケジュールおよび本プログラム修了以外の出願要件がある AO 選抜入学試験、その他留意点等については、以下をご確認ください。

入学試験要項は、2026年6月頃に本学入試情報サイトにて公開予定です。本情報は2026年4月時点での予定であり、最終的な AO 選抜入学試験の詳細は入学試験要項で確認してください。なお、本プログラムの修了は、対象の AO 選抜入学試験の合格を保証するものではありません。また、AO 選抜入学試験出願時には、調査書等の出願書類による出願資格審査を行います。

(1) スケジュール

- ①産業社会学部、政策科学部、総合心理学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部  
出願期間：2026年9月上旬、第1次選考合格発表：10月上旬、第2次選考：10月中旬、合格発表：11月上旬、入学時期：2027年4月入学
- ②情報理工学部、生命科学部、薬学部  
出願期間：2026年10月中旬、第1次選考合格発表：11月中旬、第2次選考：11月下旬、合格発表：12月上旬、入学時期：2027年4月入学
- ③デザイン・アート学部  
出願期間：2026年10月中旬、試験日：11月下旬  
合格発表：12月上旬、入学時期：2027年4月入学

※出願方法については、2026年6月公開の入学試験要項と、UNITE Program®の学習期間中にお送りするメールでご確認ください。

## (2) 出願要件

### 【生命科学部】

AO 選抜の各試験型に出願要件として、以下の科目履修要件を設定します。

科目履修要件
以下の①～③のうち 1 つ以上を履修し、当該科目の修得に必要なすべての単位を修得または修得見込みである者（IBDP については当該科目の修得または修得見込みである者）。
①「物理基礎・物理」、「理数物理」または IBDP「 <u>Physics SL もしくは HL</u> 」
②「化学基礎・化学」、「理数化学」または IBDP「 <u>Chemistry SL もしくは HL</u> 」
③「生物基礎・生物」、「理数生物」または IBDP「 <u>Biology SL もしくは HL</u> 」

## (3) 出願にあたっての留意点

### 【情報理工学部】

「UNITE Program®方式」では、出願要件とはしませんが、英語外部資格試験の証明書等は出願書類として提出を求めます。

対象となる英語外部資格試験	成績要件の有効期限
実用英語技能検定	受験時期は問わない。
TOEFL iBT®テスト	成績評価は、AO 選抜の出願期間最終日よりさかのぼって 2 年以内に受験し、出願期間中に必要書類を提出できるものを有効とする。
TOEIC® Listening and Reading テスト	
IELTS (Academic Module)	
Duolingo English Test	

### 【薬学部】

薬学部には「国家試験を経て医療現場で活躍する薬剤師」の養成を目指す薬学科と「医薬品創製の分野で社会に貢献できる人材」の養成を目指す創薬科学科を設置しています。医療の高度化に伴う薬学の深い専門的な力量をつけられるカリキュラムを用意しており、そこで学ぶためには、入学段階で理科・数学の基礎的な知識を有する必要があります。理科は本プログラムで、入学後に特に重要となる化学の単元を学びます。また、数学は「数学Ⅰ・数学 A・数学Ⅱ・数学 B（数列）・数 C（ベクトル）」の範囲を理解していることが求められます。

## (4) 昨年度講評

昨年度実施した AO 選抜入学試験の選考内容については、本学入試情報サイトで公開中の講評を確認してください。

AO 選抜入学試験講評 URL : <https://admission-old.ritsumei.ac.jp/admission/archive/ao.html>

## 9. 入学前教育

本学では一般選抜以外の入学試験の合格者を対象に入学前教育を実施します。

入学前教育とは、合格してから翌春入学するまでの数ヶ月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへ円滑に接続し、大学で必要となる基礎学力と学びの姿勢を補強・補完する取り組みです。UNITE Program 対象の AO 選抜入学試験合格者には AI 学習システムを使用した入学前教育を実施予定です。詳細は AO 選抜入学試験合格決定後に案内します。

以上

【補記】 TOEIC<sup>®</sup>、TOEFL<sup>®</sup>は Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

UNITE Program<sup>®</sup>は学校法人立命館の登録商標です。

## 個人情報の取扱いについて

UNITE Program ; 学部指定単元 AI 学習プログラム（以下「プログラム」という。）の受講に際し、プログラムの受講生（以下、「プログラム受講生」という。）から取得する個人情報（個人情報の保護に関する法律に定める個人情報をいう。以下同じ。）は、次のとおり取扱います。

### (1) 利用目的

- ① プログラムの提供、運営および管理
- ② プログラム受講生の本人確認、本人認証
- ③ プログラム修了結果の通知
- ④ プログラム修了後の各種アンケート調査の送付
- ⑤ プログラム修了者への AO 選抜入学試験に関する案内の送付
- ⑥ 個人を特定できない状態での統計資料の作成

### (2) 個人情報の管理

プログラム受講生の個人情報は、法令に則り、漏洩、滅失、き損等がないよう安全に管理します。

### (3) 個人情報の提供を伴う業務委託

個人情報の取扱いを含む業務の一部を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

### (4) 個人情報の第三者提供

あらかじめプログラム受講生本人の同意を得ないで、個人情報を第三者に提供することはありません。ただし、法令に基づき適正に提供を要求された場合は、プログラム受講生本人の同意なしに個人情報を提供することがあります。

### (5) 個人情報の共同利用

プログラム受講生の個人情報を以下のとおり共同利用します。

- ① 共同利用の目的：上記(1)記載のとおり
- ② 共同利用する個人情報の項目：氏名（読み仮名含む）、メールアドレス、  
在籍または出身の高等学校等、学年、志望理由フォームの内容、予備校・塾の利用の有無、予備校名・塾名/校舎名、atama+の利用経験有無
- ③ 共同利用者の範囲：atama plus 株式会社
- ④ 管理責任者：学校法人立命館

### (6) 統計資料の利用について

取得した個人情報は、特定の個人を識別できないよう加工し、各種の統計処理を施した上で、今後のプログラムや入学試験の調査・研究の資料として利用するほか、プログラム受講希望者や進学希望者への情報公開に使用します。

### (7) 個人情報に関する問合せ先

立命館大学入学センター  
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1  
TEL: 075-465-8351  
E-mail: r-adm@st.ritsumeai.ac.jp

以上